

女学生時代は戦の中

岩垣 千代子(88歳)

私は女学校3年生の時、学徒動員で軍需工場へ機関銃の弾作りに行った。それまでも小学校5年、6年生の時も勤労奉仕で出征兵士の農家へ田植えや、玉葱の収穫、いも堀り、田畑の草引きに行った。

また、女学校2年の時は、掩体壕作りに行った。広い田畑をつぶして、その土で「コ」の字型に土を盛りあげてかため、最後は芝生を植えるのだった。2人で「もっこ」をかついで重い土運びは重労働だった。日に日に高く盛り上がる土の上までのしんどさ、夏は苦しかった。

さて、軍需工場では、うす暗い電燈の下で油まみれ、旋盤という機械の刃物を回転させ金属をあて、火花の飛び散る中で機関銃の弾の形にしていくなかなか大変な仕事だった。夜勤もあった。

私は小柄だったので仕上がった弾の検査だった。「フギス」「ゲージ」を使い、精密に誤差のないよう調べ緊張の連続だった。時々軍刀をさげた将校が見回りにきた。

そんな中の或る日、突然仲良しの友達が「明日写真をとりに行く。先生に許可をもらっている」と、この非常識な言葉に不信をもちながら行った。私が椅子に座り彼女は横に立った。白のへちま襟に腰のベルトの制服、モンペ姿でうつした。一週間位して出来上がった写真を持ってきた。2人ともよく写っているねとほえんだ。だが翌日から彼女は姿を見せなくなった。あんなに元気だったのに心にかけた。暫くして、姉さんと従軍看護婦に応募して外地へ行ったとの噂がたった。どうして私にだけでも話してくれなかったのかと思ったが、言えなかったのだらう。

「一億総動員」「欲しがりません勝つまでは」のスローガンのもと日本の勝利を信じて頑張った。

「とも」の昨年9月号に掲載した戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

私の戦争体験 (14)

寄稿

世間では復員軍人の方々、引揚者の人々が日本へ続々と帰ってこられた。従軍看護婦を志願した友人、満州少年開拓団に応募した兄の親友は中学3年で「頑張ってください」と別れの挨拶にきた。馴れない敬礼をし振り返り去っていった姿は忘れられない。母、兄、私と3人で街角まで見送った。母は「お母さんがちがうから可愛想に」と目を赤くしていた。従兄も一人息子で親を残し、幼子のこと気にして出征した。これら身近な人達も遂に生きて帰ることはなかった。

飛行機をかくしておく土のう敵に対して射手やすい
加工するものをぐるぐるまわしながら刃物をあてて切ったり、けすたりする機械。私達の場合は金属をけすり機関銃の弾の形にしていた。

お楽しみクイズ
クロスワードパズル

●応募方法／郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、
あて先／〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2
友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてにて郵送ください。
●締め切り／2018年1月10日(水)消印有効
●当選発表／厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード5000円分)を、賞品の発送をもって発表に替えてさせていただきます。
●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

えだ

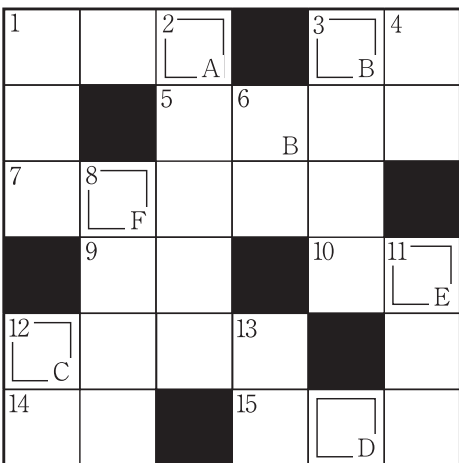
タテのキー

- ① 特別の安値。――品
- ② 准看護士の略
- ③ 腰周りを動かす体操を無理なく続けて――が
- ④ 〇〇を張らず身の丈に
- ⑤ 〇〇式会社
- ⑥ 上達
- ⑦ 冷暖房――の宿
- ⑧ 〇〇校、〇〇函
- ⑨ 歌の文句。〇〇を間違

ヨコのキー

- ① 昼が一番短い日
- ② 〇〇書き算盤
- ③ まで浸水
- ④ 燃えるもの
- ⑤ 土を高く盛った墓
- ⑥ 蛹が成虫に
- ⑦ 野心を持つ人
- ⑧ 〇〇結びの神
- ⑨ 世界的女優がお――で来日

カギを解き、二重ワクに入る文字をA B C順に並べてできる言葉は何？



●10月号の答
「キンモクセイ(金木犀)」
●応募数/72通

俳句

我が影を踏みてさみしき秋のみち
秋天に稜線くつきり生駒山
小春日にまどろむ猫の愛らしさ

川柳

見返りが民主主義とは冬薔薇
トランプとゴルフを共に何話す

*句を詠む時の情景や思いもお寄せください。
*俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2018年1月10日(水)です。
*特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

林 研
安東 利彦

安東 操
福渡 澄子
宮崎金次郎

編集後記

10月の週末は雨が多く、友の会の企画もことごとく雨でした。なかなか大変な状況でしたが、参加された皆さんは元気いっぱいでした。

2面の記事にある、「おおさか総がかり集会」の日は晴天に恵まれました。

いいお出かけ日和にもかかわらず、多くの会員が集会に参加し、元気いっぱい9条改憲反対を求めました。

私を含め戦争を知らない世代が多くなりました。しかし、戦争による悲劇は二

職員さん紹介



中川 寛人さん(35歳)

10月2日にパート職員として就職しました。仕事は、事務局の事務作業をおこなっています。

生まれは、大阪狭山市で、現在も両親とともに暮らしています。
趣味は、車をみることで。休みの日は、インターネットで無料のイベントを探して、旅のイベントや食のイベントなどに参加しています。高校の時には、陶芸クラブに所属していました。18歳の時に、半年アメリカのロサンゼルスへ語学留学もしました。
就職しての印象は、いい人が多いことでした。仕事への抱負は、経験がないため迷惑をかけることもあるかと思いますが、目の前のことをとにかく一生懸命して、会員の皆さんと仲良くなっていきたいです。よろしくお願いします。

度繰り返してはいけません。また、唯一の被爆国である日本として核兵器廃絶を訴え、国際社会を牽引していく必要があります。

共に平和の学習を深め、地域の方々へ伝えていく運動を上げていきたいと思います。(奥村)

